

海の森づくり推進協会

代表理事：松田 恵明 e-mail: info@kaichurinn.com
〒010-0872 秋田市千秋北の丸 5-72 Tel & Fax: 018-833-7734

寄付の御願い

私達は、内閣府認証NPO法人として全国的に「海の森づくり運動」を展開しておりますが、その財源は乏しく困っております。下記の当協会設立趣意書にご賛同される皆様方には是非寄付を御願い致します。当協会の詳細についてはホームページ (<http://www.kaichurinn.com>) をご覧下さい。

あなたも私達といっしょに活動しませんか。

海の森づくり運動の3つのスローガン

1. 山・川・海の健康を取り戻そう！
2. 海の森づくり運動を全国に広げよう！
3. “海藻・海草”は地球と人を救うお医者さん！

NPO 法人「海の森づくり推進協会」設立趣意書

中国では大昔から漢方の原料としてコンブを珍重し、日本から輸入しておりましたが、昭和に入って、日本の専門家の指導でその養殖が始まりました。それを中国政府が引き継ぎ、北は遼東半島から南は福建省までの 1,300km にわたる広大な海岸線で大規模にコンブ養殖が行われるようになりました。このコンブ等の海藻の森は、魚介類の産卵場や保育場となり、その増殖効果により中国は世界最大の漁業国になりました。一方、日本沿岸では、『磯やけ』と呼ばれる海の砂漠化現象が各地で起こり、沿岸漁業の不振に繋がっており、養殖技術が確立している大型海藻コンブは、人工的に管理し易いのみならずその成長も速く、窒素やリンなどの栄養塩の吸収による赤潮や富栄養化の防止と熱帯雨林以上という二酸化炭素吸収力による地球温暖化防止に役立ち、健康食品、医薬品、餌料・有機肥料・農薬や工業原料として広く利用され、エネルギー源としても期待されています。また、ミネラルバランスにすぐれたコンブ等の海藻が、過剰な化学肥料・農薬投与等で壊された陸域生態系修復の鍵とも言われております。

私たちは 1994 年の鹿児島県東町での実験により鹿児島以北の日本でのコンブ海中林造成の可能性を立証し、以来宮崎県、千葉県、石川県、愛媛県、静岡県、長崎県、熊本県等日本各地で小規模実験を普及すると同時に、2000 年には「コンブで海中林を作ろうの会」を結成し、国の行政政策に取り上げられるよう講演や宣伝活動を行ってきました。他方、農林水産公共事業が、地域住民参加を尊重し都市住民との交流推進を指向する『自然と共生する環境創造型事業』へ転換することになり、水産庁はその一環として『海の森づくり』と呼ばれる藻場・干潟や海中林造成を推進することになり、平成 14 年度 (2002 年) に予算 180 億円を計上しました。しかし、大半の地区ではこれをどのように推進して行くべき

かのノウハウもなく、戸惑っております。

『コンブ等海藻による海の森づくり』のために必要な諸技術は、各地の漁民や研究者により蓄積されています。私たちは産官学民の叡智を結集しネットワーク化を図り、それら蓄積された各種技術を効果的に収集・整理し、そのノウハウを全国に普及し、海の森の様々な効果や影響に関する基礎研究を進め、環境対策や食糧対策、更に持続可能なまちづくり対策として地域住民の自助努力による『海の森づくり』と収穫物の利活用を図り、地域毎の独立採算制に基づく事業化に向け木目細かな指導をする特定非営利活動法人『海の森づくり推進協会』を設立することになりました。

21世紀という海洋の世紀の開幕に当たって、私たち『海の森づくり推進協会』は、「国土の十数倍（約450万k㎡）に及ぶ日本の200海里排他的経済水域は、我が国が“海”の環境や水産資源を維持・保全する責務を負う水域である。」と考え、『海の森づくり』から得られる素晴らしい財産を漁業者は基より、農業者・林業者・都市市民と共有し、その適切な利用を通して海と森と里と都市を結ぶ循環型地域づくりや食糧の安定供給・自給率の向上に寄与して行きます。また、水産増殖並びに環境対策や持続可能なまちづくり対策の有力な技術の一つとして、私たちは『コンブ等海藻による海の森づくり』の輪を世界に広げて行きます。

平成14年7月7日

NPO法人海の森づくり推進協会 設立代表者 松田 恵明

Fax 回答用紙 平成 年 月 日

寄付申込書

海の森づくり推進協会
代表理事 松田恵明 殿
Fax: 018-833-7734

私は、貴「海の森づくり運動」を支援するために寄付を致します。

寄付金額	円
寄付申込者氏名	
請求書の送り先	〒
連絡先	電話番号 Fax 番号
e-mail アドレス	

この情報は本人との通信並びに当協会の運用以外には使用しません。上記住所宛に請求書と郵便振替用紙を送付させていただきますので、宜しく申し上げます。